

1. 消化管の全体像

INTRO

消化管は、口から肛門までつながる全長約9mの1本の管で、口から摂取した飲食物を肛門の方へと**運搬**し、その過程で**消化・吸収**を行い、そして消化・吸収の結果生じたカスを**糞便**として肛門から**排泄**します。

消化管の構成要素を、口から順に追ってみましょう。

口の中の空間は**口腔**とよばれ、舌や歯が存在して、食物を咀嚼して粉々に砕き、唾液と混ぜ合わせます。

咽頭はいわゆる‘のど’の一部で、鼻と口、そして食道と喉頭（気管の入り口部分）が咽頭を介してつながっています（さらに耳管を介して中耳とも交通しています）。経口的に摂取された飲食物は咽頭を介して食道に入ります。

食道は、口から摂取した飲食物を胃へ運ぶ通路で、肺の間を通過して、横隔膜を貫き、胃につながります。胃から先の消化管は全て**腹腔**と骨盤腔におさめられています。

胃の役割は、食道からの飲食物を貯留し、その先の小腸へと順に送り出すことによって、飲食物を効率よく消化させることで、ここで飲食物は胃粘膜から分泌される胃酸と混ぜ合わせられます。

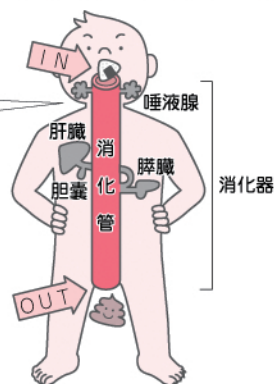
小腸は、消化・吸収のほとんどが行われる場所で、飲食物は様々な消化酵素と混ぜ合わされ、消化が進行します。小腸は**十二指腸**、**空腸**、**回腸**の3つの部分に分けられます。

小腸の先は**大腸**です。大腸は盲腸、虫垂、**結腸**、**直腸**に分けられ、ここでは主に糞便の形成が行われます。

結腸でつくられた糞便は、排便の直前に直腸へと入ります。そして、適切なタイミングを選んで、消化管の出口である**肛門**から排出されることになります。

消化管と消化器

消化器は
・消化管とそれに接続する
・唾液腺、肝臓、胆嚢、膵臓
などの分泌腺を含めた器官群の総称で、それぞれが協力して
・消化、吸収
を行う部位です（肝・胆・膵の詳細はたらきについては肝・胆・膵の巻で扱います）。

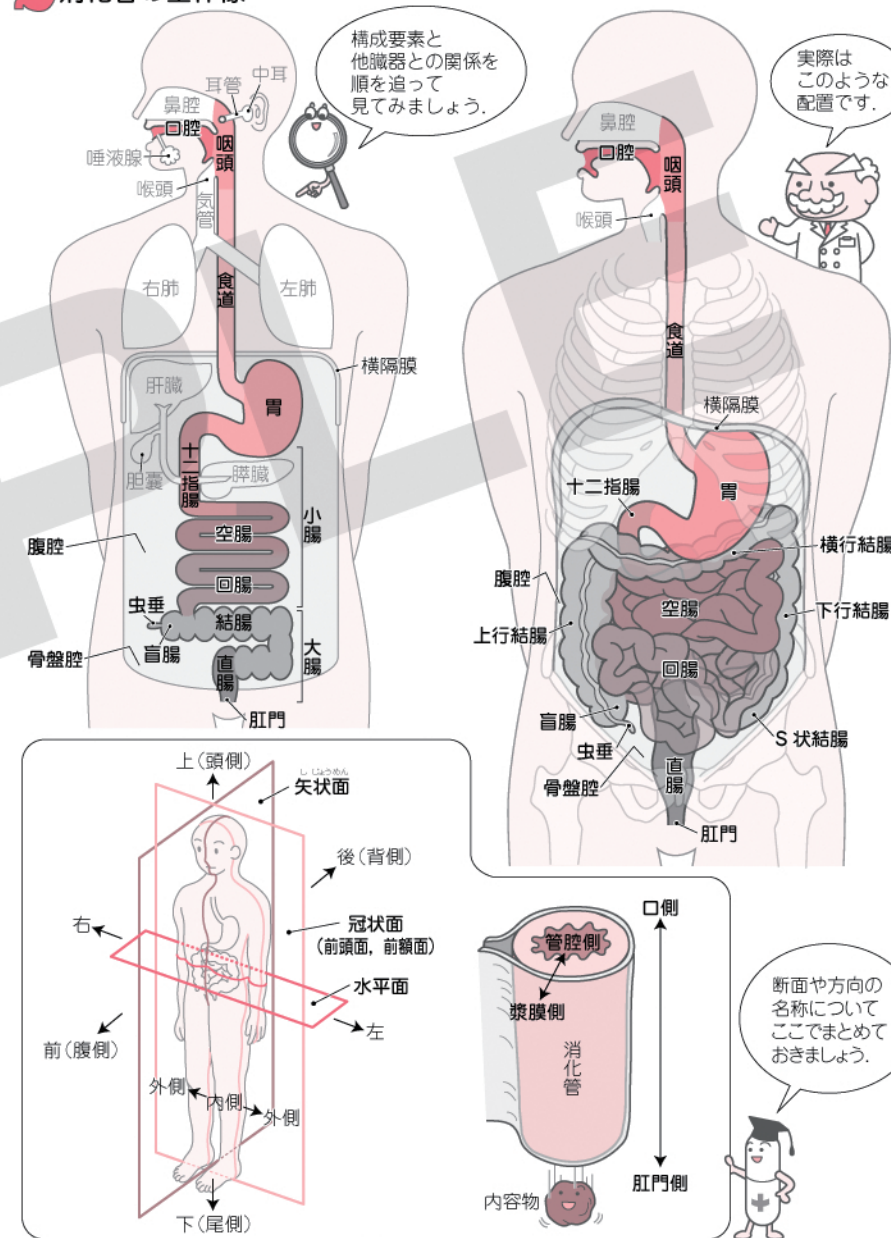


イメージするカラダのしくみ

消化管の全体像

▶ 消化管各部の名称を確認しよう

01 消化管の全体像



Visualizing Human Body